



笠原 幸江
議員

質問

柵口温泉「権現荘」の税金の 使い方・使われ方について

平成28年3月定例会において明らかになった柵口温泉「権現荘」の赤字経営の内容が、平成21年から平成27年の累積赤字約1億円。支配人は、毎年「黒字にします。」と繰り返し言葉にし、一般財源を投入し続けた結果である。

今後どのように経営改善し、改革していくのか。

- (1)「権現荘」の設置目的と地域振興について
- (2)食材や消耗品の仕入れ見直しをどのように改善されたのか。
- (3)支配人との半年間（4月1日から9月30日）の契約期間の根拠と責任の具体的明記について
- (4)支配人の裁量権について
- (5)庁内評価者と責任部署のあり方について
- (6)指定管理者制度に向けての進捗状況について

▼市長答弁

- (1)設置目的として地域住民の福祉及び都市と農村の交流促進に資することを掲げており、地域振興としては地域の雇用、資材調達、保守点検業務、誘客連携等、地域の拠点施設としての役割を担っている。
- (2)今年度から肉や事務用消耗品の仕入れを地元業者へ移行するなど、条件が合うものについて見直しを進めている。
- (3)平成27年度の収支の反省を踏まえ、7月末までのリニューアル後1年間の運営収支等を把握分析する中で、評価等の対応をするため、半年契約とした。
- (4)権現荘の日常管理運営については、支配人に裁量を委ねている。
- (5)評価者は副市長、総務部長、総務課長、企画財政課長等を予定しており、所管である能生事務所は、責任部署と考えている。
- (6)平成30年度からの指定管理に向けて貸借対照表や損益計算書の作成など、準備を進めている。



こっが聞きたい！一般質問



田中 立一
議員

質問

動物愛護について

現在日本は空前のペットブームと言われ、各地で人と動物の共生、動物による地域活性化などが見られる中、糸魚川市の考えを伺う。

- (1)市内の犬猫殺処分の状況と対応について
- (2)観光施設でのペット対応について
- (3)同伴避難について

▼市長答弁

- (1)犬猫の殺処分は近年減少しており、平成27年度は8件となっている。今後も適正な飼育方法を周知する中で減少に努めていく。
- (2)観光施設でのニーズが高まってきていると感じており、市の施設では、神道山公園にはドッグランがあるが、今後もそれぞれの施設にあった取組が進むように努めていく。
- (3)地域防災計画の中で指定避難場所は動物同伴の避難者を受け入れられるよう配慮することとしている。

質問

えちごトキめき鉄道と北陸新幹線の 現状と課題、観光振興について

- (1)えちごトキめき鉄道について、通学時間帯の混雑解消及びリゾート列車「雪月花」運行開始による観光振興策について伺う。
- (2)北陸新幹線について、夏の繁忙期に向けた糸魚川駅の利用促進策と観光振興及び騒音対策の現状について伺う。

▼市長答弁

- (1)混雑解消については、今年度乗降者数の調査を2回実施して朝の混雑状況を確認しており、引き続き混雑時の車両増設等について要望していく。雪月花の乗客に対して当市の見どころのリーフレットを配布し、到着後の市内回遊を促すよう努めている。
- (2)夏休み期間中、半日観光バスの運行及びマリンドリーム能生、親不知ピアパーク、レンガトンネルなどを往復するバスを運行して、糸魚川駅からの2次交通を充実させることにより観光振興につなげたいと考えている。
騒音対策については、鉄道・運輸機構が柱道、梶屋敷地区のトンネル出入り口の緩衝工の閉塞工事を終了し、今後、騒音レベルの高い地区では吸音板設置等の音源対策工事を実施することとなっており、該当する住宅の防音工事の補償も進めている。

その他質問項目

- 新規就農、担い手育成について
- 権現荘の経営計画について